

主催 日本学術会議健康・生活科学委員会家政学分野の参照基準検討分科会
後援 日本医歯薬アカデミー

公開シンポジウム

「大学教育における家政学分野の質保証

—学士課程教育における

家政学分野の参照基準について—」

日時 平成24年12月22日（土）13：00～17：00

会場 日本学術会議講堂 東京都港区六本木7-22-34

東京メトロ千代田線 乃木坂駅5番出口徒歩2分

総合司会 小川宣子(日本学術会議第二部会員, 中部大学応用生物学部教授
家政学分野の参照基準検討分科会幹事)

13：00～13：10 開会挨拶

片山倫子(日本学術会議連携会員, 東京家政大学名誉教授
家政学分野の参照基準検討分科会委員長)

13：10～13：50 基調講演「大学教育の分野別質保証と参照基準」

北原和夫(日本学術会議特任連携会員, 東京理科大学大学院科学教育
研究科教授, 大学教育の分野別質保証委員会委員)

13：50～14：30 分科会報告「家政学分野の参照基準案について」

片山倫子(前掲)

14：30～14：40 休 憩

14：40～16：50 パネル・ディスカッション

司会 本田由紀(日本学術会議連携会員, 東京大学大学院教育学研究科教授
家政学分野の参照基準検討分科会委員)

パネリスト

蟻川芳子 (日本女子大学学長)

唐木英明 (日本学術会議連携会員, 倉敷芸術科学大学学長
家政学分野の参照基準検討分科会委員)

川口康裕 (消費者庁審議官)

早川美穂 (東京ガス神奈川支社長, 元都市生活研究所所長)

藤吉一隆 (レナウンアパレル科学研究所代表取締役社長)

16：50～17：00 閉会挨拶

渋川祥子(日本学術会議連携会員, 横浜国立大学名誉教授
家政学分野の参照基準検討分科会副委員長)

—当日受付・事前登録不要・定員300名・入場無料—

開催趣旨

日本学術会議は、2008年5月文部科学省高等教育局長から学術会議会長宛てに「大学教育における分野別質保証のあり方に関する審議について」と題する依頼を受けた。このため日本学術会議は、同年6月に課題別委員会「大学の分野別質保証のあり方検討委員会」を設置して審議を重ね、2010年7月に回答「大学教育の分野別質保証の在り方について」を取りまとめ、同年8月に文部科学省に手交した。この回答においては、分野別質保証のための方法として、分野別の教育課程編成上の参照基準を策定することを提案している。

これを受けて、家政学分野の参照基準検討分科会が設置され、2012年3月より、「学士課程教育における家政学分野の参照基準」について検討を行って来た。本分科会の構成メンバーは、家政学分野の委員9名と生産農学分野の委員1名、教育学分野の委員1名からなっている。

本分科会では、家政学は「人間生活における人間と環境との相互作用について、人的・物的両面から、自然・社会・人文の諸科学を基盤として研究し、生活の向上とともに人類の福祉に貢献する実践的総合科学である。」との共通認識、更に、現在の社会は、経済的発展や技術の進歩と共に生活様式が大きく影響を受けて変化し多様化していること、一方では人の絆の大切さや、自然との共生の重要性が強調される状況にあり、生活に視点を置いた家政学の発展により大きな期待がかけられているとの共通認識のもとに家政学分野の参照基準案の作成に向けて検討を行ってきた。

今後、最終的な「家政学分野の参照基準」を取りまとめることとなる。原案のできた現段階で、多様な意見を聴取し、議論を深めて「家政学分野の参照基準」に生かしていく事を目的として、今回、公開シンポジウムを開催することとなった。学士課程教育における家政学分野は、各種資格士を養成し社会に送り出していることもあって、シンポジストとしては、家政学関連大学の関係者・関連する官界・実業界の識者等にお願いした。

多数の参加者を得て、建設的な議論が展開される事を期待している。